

エレベーターの閉じ込め対策について(お願い) ～エレベーター内に防災用品を設置しておきましょう～

大規模災害時には、エレベーターが停止し、閉じ込めが発生する可能性があります。エレベーターの復旧には、長時間かかる場合があります、救助が来るまで、エレベーター内で長時間過ごすことになるため、エレベーターの閉じ込め対策を実施しておく必要があります。

過去のエレベーター閉じ込め事故

東日本大震災

全国 15 都道府県で合計 266 件のエレベーターの閉じ込めが発生。

出典) 国土交通省「東日本大震災の記録」

大阪北部地震

大阪府内で約3万8千台が運転停止し、その内278台で閉じ込めが発生。

出典) 国土交通省「エレベーターの地震対策の取組みについて(報告)」

南海トラフ巨大地震が発生したら？

30年以内に80%程度の確率で発生すると言われている、南海トラフ巨大地震では寝屋川市だけで **184 台**のエレベーターが停止する被害想定となっています。

防災キャビネットを設置しましょう！

エレベーターに閉じ込められたときのために、防災キャビネットを設置しましょう。防災キャビネットは、チェアタイプやコーナータイプ、フラットタイプなどがあります。それぞれ特徴がありますので、設置する場合はエレベーターの大きさや使い方によって選ぶことができます。防災キャビネットの中に、簡易トイレや保存水・保存食、ライト、ラジオなどの防災用品を入れておくことで、突然の閉じ込め事故にも慌てず、対応することができます。

チェアタイプ



大容量であり、普段は椅子や荷台として活用ことができ、簡易トイレとしても使用できます。

フラット・コーナータイプ



エレベーター内のスペースを有効活用することで、車いすやベビーカー等の妨げになりません。